

平成 26 年度

厚生労働省保健指導支援事業人材育成事業

保健指導ミーティングの開催
実施報告

公益社団法人 日本看護協会

平成 27 年 3 月

目次

1. 背景と実施経過	2
2. 平成 26 年度実施の特徴	3
3. 平成 26 年度実施状況	5
4. 平成 26 年度 各県(3 県)のミーティング実施結果のまとめ	13
5. 今後の保健指導ミーティングの開催に向けて	15
6. 保健指導ミーティング県別実施報告	16
鹿児島県	17
広島県	26
秋田県	38
資料	
・平成 26 年度実施 3 県の実施状況等の概要	51
・平成 26 年度保健指導ミーティング参加者アンケート	53

1. 背景と実施経過

高齢化の急速な進展に伴い日本人の疾病構造は変化し、生活習慣病の割合が増加してきた。生涯にわたる生活の質の維持・向上のためには、発症、あるいは重症化予防の取組みが重要であり、喫緊の課題である。

平成20年度からは、「特定健診・特定保健指導」が開始し、保健指導により発症や重症化が予防でき、客観的指標を用いて評価できる仕組みが作られた。また、健康日本21(第2次)においても、生活習慣に起因する要介護状態を予防するための取組の推進、将来的な生活習慣病発症の予防のための取組みの推進等が示され、保健師の役割がますます期待されている。

一方、保健師が効果的な保健指導を行うためには、単なる講義の聴講や、ノウハウの伝達研修だけでは不十分である。特に近年、格差社会等の背景を受け、複雑困難な事例への対応が迫られることも増加しており、多様な場で活動する保健師同士の相互支援と情報共有の場や仕組みづくりが不可欠となる。

こうした背景を受け、本会では地域保健活動の普及と充実をはかることを目的に、平成20年度から、厚生労働省より「保健指導支援事業人材育成事業」を受託した。本会ではこの事業を、「保健指導ミーティング」として企画・開催され、今年で7年目を迎えた。

平成25年度からは、「保健指導ミーティング」の実践事例発表やグループ討議での事例検討を通じ、新任期保健師に対して、新任期に必要な個別事例のアセスメント能力が育成される契機となることを目指し、新任期及びプリセプター(指導)保健師を主対象に「保健指導ミーティング」を開催することとした。

保健指導ミーティングについて

1) 保健指導ミーティングとは

「保健指導ミーティング」は、①保健師の実践事例発表、②保健師同士のグループ討議を主たる内容とし、日本看護協会と各都道府県看護協会とが協働して企画・実施する事業である。

行政分野の保健師のみに留まらず、産業や医療・福祉・教育機関の保健師も含めて一堂に会し、お互いの実践を振り返り、スキルアップを図ることにより、保健師の専門性を発揮するための基盤強化を目指す研修プログラムである。

平成20年度～22年度は生活習慣病予防のみであったが、平成23年度からは、都道府県のニーズや実情に合わせて、母子、精神、介護予防、災害保健活動等についても本会独自に事業を実施している。

2) 開催テーマ

保健指導ミーティングは現在2つのタイプに分け実施している。

タイプ1：生活習慣病予防(厚生労働省保健指導支援事業)

保健指導ミーティング開始にあたり、保健指導に従事する各領域の保健師が一堂に会し、保健指導のスキルアップを図るためには、各領域の保健師に共通のテーマであると考えられる「生活習慣病予防」をテーマとすることが有効であるとしたことから始まった。

タイプ2：その他(日本看護協会独自事業)

生活習慣病以外のテーマ、母子、精神、介護予防、災害保健活動等

2. 平成 26 年度実施の特徴

平成 25 年度の実施結果から、新任期を主な対象にした「保健指導ミーティング」では、グループワークを円滑に進めることと、ファシリテーターの育成が必要との課題があることがわかった。

そこで、平成 26 年度は、各県協会に対し、保健指導ミーティングの企画の時期に、保健指導ミーティングの企画についての説明をするとともに、本会が平成 25 年度に開発した“実践力 UP 事例検討会”の手法を、「保健指導ミーティング」の中で活用することを目的に、以下の説明会を実施した。

“実践力 UP 事例検討会” 継続実施及び普及のための戦略会議

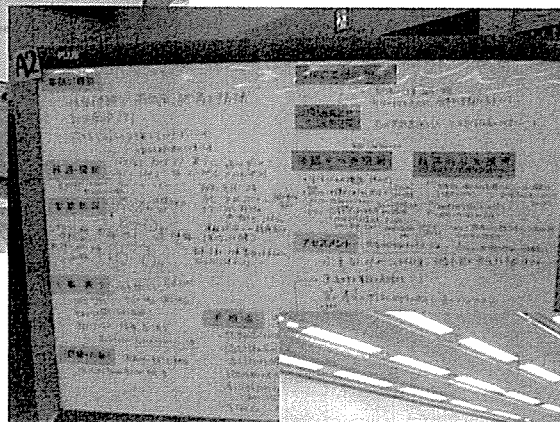
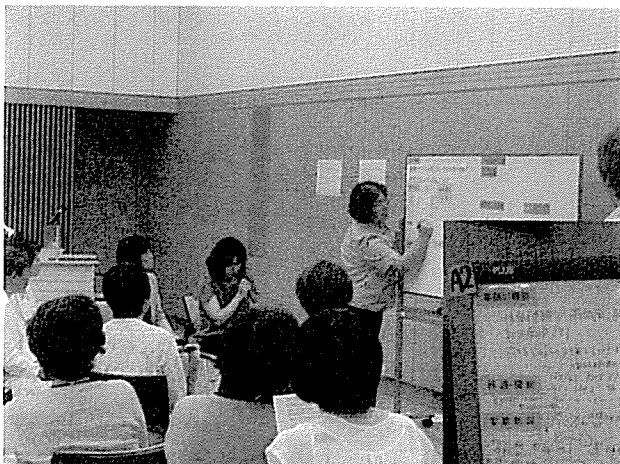
開催日時：平成 26 年 8 月 2 日（土）10:00～16:00

会場：日本看護協会 JNA ホール

参加者：保健指導ミーティングの応募を検討する都道府県看護協会の職能委員長やその代理
30 道県協会から 36 名

会議内容等：（次ページプログラム参照）

“実践力 UP 事例検討会”を効果的に実施するための講義、実践報告、グループワーク、事例検討会のデモンストレーション、ファシリテーターの役割と育成
保健指導ミーティングの企画についての説明 等



平成 26 年度 厚生労働省 保健指導支援事業 保健指導技術開発事業
 “実践力 UP 事例検討会” 継続実施及び普及のための戦略会議 プログラム

- 日時：平成 26 年 8 月 2 日（土） 10：00－16：00（受付開始 9：30～）
- 場所：日本看護協会 JNA ホール
- プログラム：

時間	内容	担当等
10：00 - 10：05 (5分)	・オリエンテーション ・開会の挨拶、関係者紹介	事務局
10：05 - 10：45 (40分)	【講義】なぜ今、事例検討会なのか ～人材育成の観点から～ 講師：佐野信也 氏 防衛医科大学校 心理学学科目 准教授	
10：45 - 11：00 (15分)	“実践力 UP 事例検討会” とは	中板理事
11：00 - 11：40 (40分)	事例検討会のデモンストレーション (準備・移動含む)	事務局
11：40 - 12：25 (45分)	【実践報告】“実践力 UP 事例検討会” を実施して	
12：25 - 12：30 (5分)	・グループワークのオリエンテーション	事務局
12：30 - 13：30	昼食	
13：30 - 14：40 (70分)	・グループワーク	
14：40 - 15：25 (45分)	・グループ討議 1. 実施した感想について 2. “実践力 UP 事例検討会” のファシリテーターの役割と育成について 3. 各団体等内外での実施及び継続/普及の可能性と方策について	
15：25 - 15：45 (20分)	・全体討議（質疑応答） ・有識者よりコメント 有識者：佐野信也 氏 防衛医科大学校 心理学学科目 准教授 塚原洋子 氏 なごみ相談室 主宰	中板理事
15：45 - 16：00 (15分)	・閉会の挨拶 ・アンケート記入	

※16:00～16:20 の間、都道府県看護協会の方（一部を除く）には、保健指導ミーティングに関する説明をお聞きいただきます。

3. 平成 26 年度実施状況

1) 実施期間

平成 26 年 9 月～平成 27 年 1 月

2) 保健指導ミーティングの公募について

(1) 公募期間

平成 26 年 6 月～8 月

(2) 募集要件

- ① 都道府県看護協会保健師職能委員会の企画であること
- ② 新任期保健師及びその指導保健師を主たる対象とした企画であること
- ③ 都道府県看護協会会長の理解が得られること
- ④ 都道府県の関係主管課と連携していること
- ⑤ 関係組織・団体と連携し、多様な活動領域（行政・地域包括支援センター、産業、健診・医療機関、福祉、その他）の保健師が参加できるように、周知が図られること
- ⑥ 実施は平成 26 年 9 月末から 27 年 1 月中旬までに行うこと
- ⑦ 新任期保健師自らが実践した保健指導の事例発表をプログラムに取り入れること
- ⑧ 保健指導ミーティングの評価を行うこと
- ⑨ 以下の点に留意した保健指導ミーティングを開催できること
 - ・ 実践事例発表やグループ討議での事例検討を通して、新任期保健師には新任期に必要な個別事例のアセスメント能力が育成される契機となること
 - ・ 参加者全員で意見交換ができるよう、グループ討議の進め方やファシリテーションの工夫を行うこと
 - ・ 指導保健師自らも学ぶことに加え、新任期保健師に対する今後の支援に活かすことができるよう配慮すること

(3) 結果

公募の結果、合計 17 道府県からの応募があった。

うち生活習慣病予防をテーマとした保健指導ミーティング（厚生労働省保健指導支援事業）は、3 県（鹿児島県、広島県、秋田県）で開催することとなった。

本報告書では、上記 3 県について報告する。

3) 保健指導ミーティング開催県の開催日時・開催場所・会議名

	鹿児島県	広島県	秋田県
開催日時	2014/11/21(金) 10:00～16:00	2014/11/22(土) 10:00～15:00	2015/1/15(木) 9:30～16:00
開催場所	鹿児島県看護協会	広島県看護協会会館	秋田県看護協会
会議名	そうだ!事例検討会をしてみよう ～実践力UPのために～	保健指導ミーティング	新任期保健師のための 保健師力UP 大作戦

4) 実施結果

(1) 参加者の属性と延べ人数

(単位：人)

	鹿児島県 (新任期再掲)	広島県 (新任期再掲)	秋田県 (新任期再掲)	合計 (新任期再掲の合計)	割合 (%)
行政	49 (12)	13 (6)	33 (20)	95 (38)	72.0 (77.6)
医療	2 (1)	8 (4)	3 (2)	13 (7)	9.8 (14.3)
産業	1 (0)	6 (2)	1 (0)	8 (2)	6.1 (4.1)
福祉	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	1.5 (2.0)
その他	10 (1)	0 (0)	4 (0)	14 (1)	10.6 (2.0)
①参加者合計 (新任期再掲)	62 (14)	27 (12)	43 (23)	132 (49)	100.0 (100.0)
②職能委員・ 運営スタッフ	9	11	12	32	-
①+②	71	38	55	164	-

(2) 企画・実施内容

①周知の工夫

鹿児島県	広島県	秋田県
<p>【会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員名簿に基づく周知 ・ 会報誌 ・ 県協会ホームページ ・ 保健師会員の職場への メーリングリスト <p>【非会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県より関係機関にメールにて案内 	<p>【会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県協会ホームページ ・ 会員施設案内を送付 <p>【非会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県保健師研究協議会、県市町村保健活動協議会及び保健師長会(県支部・市支部)会長へ開催案内を送付 ・ 広島県産業保健研究会の会員へ開催案内を送付 	<p>【会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員名簿に基づく周知 ・ 会報誌 ・ 県協会ホームページ ・ 県庁の保健師現任教育担当部署からの課長通知依頼 ・ 産業・医療機関に対する個別の電話勧誘と通知 <p>【非会員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員と同様の働きかけ実施 ・ 8月の保健師職能集会時にリーフレットを配布しPR ・ 職能通信や他の研修会開催時にPR

②事前打ち合わせ

	鹿児島県	広島県	秋田県
回数	1回 (他に保健師職能委員会での打ち合わせ1回)	1回 (他に保健師職能委員会での打ち合わせ8回)	1回
参加者	職能委員、コーディネーター	職能委員、実践事例発表者、コーディネーター	職能委員、実践事例発表者、コーディネーター
内容	<ul style="list-style-type: none"> 目的・目標の確認、事例検討 当日の流れ内容、役割分担 目的・目標・参加者に考えてもらいたいこと等 	<ul style="list-style-type: none"> 参加確認 企画内容検討 企画内容の再確認・役割分担 コーディネーター・事例発表者との打合せ 進め方の最終確認 	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングの共有と役割分担の確認

③保健指導ミーティングのプログラム内容

	鹿児島県	広島県	秋田県
講演・講義	1名 <ul style="list-style-type: none"> 実践力UPのために～佐賀県での取り組み～ 事例検討会の効果的な進め方についての説明 	1名 <ul style="list-style-type: none"> 新任期保健師とともに育つ保健師の人材育成 	2名 <ul style="list-style-type: none"> 保健指導ミーティングの意義 家庭訪問・健康相談事例における健康課題のアセスメント
事例	7事例	3事例	3事例
事例検討	8人×7グループ 1回	8人×3グループ 1回	12人×2グループ 9人×1グループ
グループ討議	1回 感想	2回 感想 効果的な保健指導をするために	1回 事例検討会の振り返り 保健指導力UPに向けて高めたい課題
全体共有	1回	2回	2回
その他	事例検討会のデモンストレーションとロールプレイ		名刺交換会

④実践事例発表で取り上げた事例

鹿児島県	広島県	秋田県
生活支援者の突然死により独居になった方の独居生活を支える方法について	定期健康診断にて血圧・尿酸値が高値であり受診を推奨しているが、継続的な受診へ結びつかない事例	生活習慣を積極的に変えられない49歳男性への支援
他7事例	他2事例	他2事例

【実践事例-広島県の場合-】

保健師職能委員会では、「保健師が保健師としてのやりがいを持っていきいきと働いてもらえるためには人材育成が大切」と考え、活動してきた。保健師になって良かったと思い、活発な活動ができるためには情報交換の機会も必要と考え、今年度は保健指導ミーティングの開催について検討した。

参加者には、「事例検討の方法を学ぶ機会」となることと、参加者同士の仲間の輪が広まることをねらい企画した。

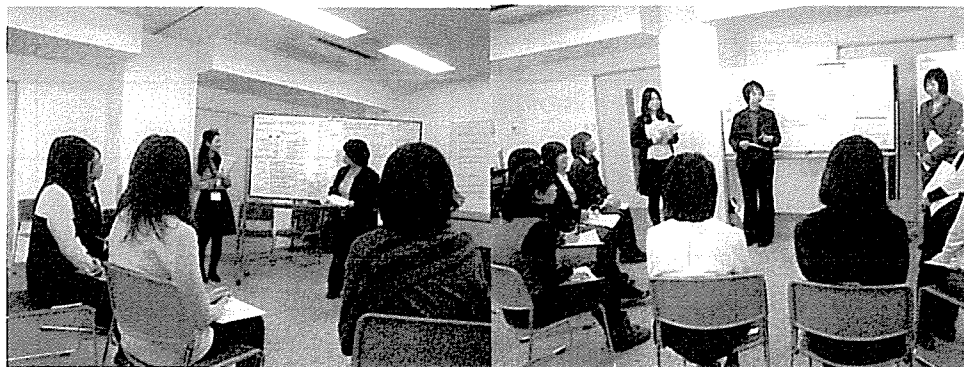
職能委員会のメンバーは、事例検討会の練習を何度も繰り返し行い当日に備えた。

また、保健指導ミーティング終了後すぐに振り返りの会議を開催し、今後も継続できる点、改善が必要な点について話し合った。

参加者も保健師職能委員も、来年も実施・参加したいとの感想が多かった。

保健師職能委員会の、保健指導ミーティング開催までの工程

- (1) 保健指導ミーティング参加意向を決定
- (2) 平成 25 年度保健指導ミーティング募集要項を参考に、事業目的、到達目標を検討
- (3) 各職能委員が企画書(案)を考え、次回委員会へ持ち寄る
- (4) 持ち寄った企画(案)をまとめ、目的、目標、タイムスケジュール、講師など検討
- (5) 実施に向け、事業(企画)内容の検討
- (6) 実施要領案作成、常任理事会へ提出
- (7) 手引きの内容の確認
- (8) コーディネーター、事例発表者との事前打合せの日程調整
- (9) 事例提供者の選出、事例提供者の資料の準備についての検討
- (10) コーディネーター、事例発表者に保健指導ミーティング企画書(案)、「平成 25 年度実践力 UP 事例検討会」報告書、「戦略会議」資料を提示し説明
- (11) ファシリテーター、板書係の役割、事例検討の進め方を確認
- (12) 申請した保健指導ミーティング企画に基づき、実施要領を一部変更
- (13) 委員の役割確認
- (14) 事例提供者の最終決定
- (15) コーディネーターおよび実践事例発表者との事前打合せの日程決定
- (16) 保健指導ミーティング実施報告書の評価項目を参考にアンケート(案)を検討
- (17) 広報のため、周知の方法を検討
- (18) 事例検討の方法/グループワークの方法/委員の当日の役割/新任期人材育成についてのフリーディスカッション
- (19) 研修会場の準備・資料の準備
- (20) グループワークの記録、発表 ホワイトボードの活用の仕方等確認
- (21) アンケートの確認(広島県看護協会アンケート、日本看護協会アンケート)
- (22) 研修会場の準備・資料の準備
- (23) 事例検討会のデモンストレーション



(3) 評価

各県での開催にあたり、所定の書式(評価項目)を提示し評価を依頼した。結果は以下のとおり。

<実施評価>

3県とも、「新任期保健師が自らの事例を発表」でき、「目標が達成できるような事例検討が行われた」としていた。一方、「ファシリテーターは目標が達成できるようにグループ討議を進行できたか」については、広島県のみが『非常にそう思う』と評価した。

(4.非常にそう思う 3.ややそう思う 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない)

評価項目	評価点			平均
	鹿児島県	広島県	秋田県	
①新任期の保健師が自らの実践事例を発表することができたか	4	4	4	4.0
②様々な領域から新任期の保健師を集められたか	4	3	4	3.7
③数多くの保健師の参加が得られたか	4	3	4	3.7
④目標が達成できるように、実践事例発表を行えたか	4	4	4	4.0
⑤目標が達成できるように、工夫してグループ討議を行えたか	4	4	3	3.7
⑥グループ討議では、参加者一人ひとりが発言できたか	4	4	3	3.7
⑦ファシリテーターは、目標が達成できるようにグループ討議を進行できたか	3	4	3	3.3
⑧プログラム内容は参加者に適したものだったか(参加者の反応等からの評価)	4	3	4	3.7
⑨プログラム運営に必要な人員・人材を確保できたか	4	4	3	3.7

<結果評価>

3県とも、参加者にとって「保健指導のスキルアップの動機付けのきっかけになった」としている。一方、業務に関連する「情報交換ができるような仲間づくりができた」や「指導保健師にとって、新任保健師への関わり方を振り返るきっかけになった」については『ややそう思う』に留まり、鹿児島県では「連携ができるような見通しがたった」について、『あまりそう思わない』と評価した。

(4.非常にそう思う 3.ややそう思う 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない)

評価項目	評価点			平均
	鹿児島県	広島県	秋田県	
①新任期の保健師が自身の実践を振り返ることができたか	4	3	3	3.3
②新任期の保健師が自身の強化すべきスキルに気付くことができたか	4	3	3	3.3
③参加者同士が、業務に関連する情報交換ができるような仲間づくりができたか	3	3	3	3.0
④参加者同士が、業務に関連する連携ができるような見通しがたったか	2	3	3	2.7
⑤参加者にとって、自身の考え方や行動の問題点を意識する機会となったか	4	3	3	3.3
⑥参加者にとって、保健指導のスキルアップの動機付けのきっかけになったか	4	4	4	4.0
⑦指導保健師(プリセプター)にとって、新任保健師への関わり方を振り返るきっかけになったか	3	3	3	3.0
⑧参加者の満足を得ることができたか	3	4	3	3.3
⑨県協会と関係機関等が、連携して保健師の人材育成に取り組める関係性を構築できたか	4	3	3	3.3

<企画評価>

3県とも、「多様な領域の保健師の参加が得られるよう、周知できた」「企画段階で、必要な人材の参加・協力を得られた」「目的・目標について関係者間で事前共有できていた」については『非常にそう思う』と評価していた。一方、鹿児島県、秋田県は、保健指導ミーティングの開催時期・開催場所・実施時間について『ややそう思う』としていた。

(4.非常にそう思う 3.ややそう思う 2.あまりそう思わない 1.全くそう思わない)

評価項目	評価点			平均
	鹿児島県	広島県	秋田県	
①新任期の保健師を主な対象とした事業として適切な企画内容だったか	4	3	4	3.7
②保健指導ミーティングの開催時期・開催場所・実施時間は適切だったか	3	4	3	3.3
③多様な領域の保健師の参加が得られるよう、周知できたか	4	4	4	4.0
④多様な領域の保健師の参加を得るために適切な企画内容だったか	4	4	3	3.7
⑤事業の目的・目標の設定は適切だったか	4	4	3	3.7
⑥目的・目標について関係者間で事前共有できていたか	4	4	4	4.0
⑦事業の目的・目標に対し、プログラムの構成・内容は適切だったか	4	4	3	3.7
⑧企画段階で、必要な人材の参加・協力を得られたか	4	4	4	4.0
⑨関係機関等と協働・連携するための働きかけはできたか	4	4	3	3.7

(4) 3県から出された考察とまとめ(抜粋)

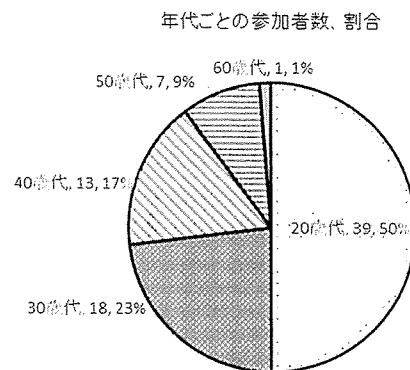
鹿児島県
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前の企画調整会議で研修の目的・目標を共有できたことが、よい研修につながった。 ・ 保健師職能委員及び共同企画者の方々、参加者も「事例検討会」の必要性を実感できた。 ・ 新任期保健師が困難事例を担当していることを改めて気付かされた。 ・ 今回、参加者のネットワーク構築まで至らなかったが「一緒に考える気付き」「一緒に考える土壌が地域のネットワークを作っていく」との意見がについてアンケート結果から得られた。
広島県
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例の内容や事例提供者の決定には苦慮した。 ・ 実施してみて、自身の実践の振り返りができた。 ・ 従来の事例検討のような堅苦しさが無く、参加者の満足度は高かったように感じる。 ・ 途中、広島市の土砂災害もあり、開催も危ぶまれたが、事例提供者・講師をはじめ、関係者全員の協力のもと、実施することができた。 ・ 今回のようなやり方が、各職場において定着するよう、少し続けてみてもよいと思う。 ・ 事前の職能委員会において、目的の共有と進め方について何回も意見交換を行うことで、職能委員間の連帯感が高まり、保健指導ミーティング実施後の達成感があった。
秋田県
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回はグループ毎に事例を準備したが、事例提供者の協力が難しい場合は同一の事例で行うことも良いのではないかと。 ・ 新任期の保健所保健師は個別事例への対応力が不足していることがわかったため、事例検討会等のチャンスの確保・拡大を図る必要がある。 ・ 雪国では、冬に実施する場合の実施時間や実施場所の確保が難しい。できるだけ年内中(12月まで)の企画が望ましい。 ・ 事例検討会をどこでも開催できるようファシリテーターの育成が必要である。

(5) 参加者アンケートの実施結果(県共通項目で実施)

参加者アンケートの結果を以下に示す。(使用アンケート質問紙は資料●)

①参加者数および参加者の属性について

- アンケート協力者は、職能委員・運営スタッフを除いた 132 名中 99 名で、回答率は 75% であった。
- 女性は 97 名 (98%)、男性 2 名 (2%) であった。
- 記載のあった 78 名の年代は、20 代 39 名 (50.0%)、30 代 18 名 (23.1%)、40 代 13 名 (16.7%)、50 代 7 名 (9.0%)、60 代以上 1 名 (1.3%) であった。
- 職種は、記載のあった 98 名中保健師が 96 名で、看護師とその他が各 1 名だった。
- 保健師経験年数は、回答者 90 名中、5 年以下が 46 名 (51.1%)、6~10 年が 17 名 (18.9%)、11 年以上が 27 名 (30.0%) であった。
- 保健師の所属は、回答者 97 名中、市町村が 39 名 (40%) と最も多く、次いで、県型保健所 15 名 (11.5%)、病院 10 名 (10%)、企業・事業所と健診センター・労働衛生機関が各 5 名であった。そのほか、都道府県 2 名、保健所設置市 3 名、医療保険者 1 名、その他 2 名だった。



②参加者の回答状況

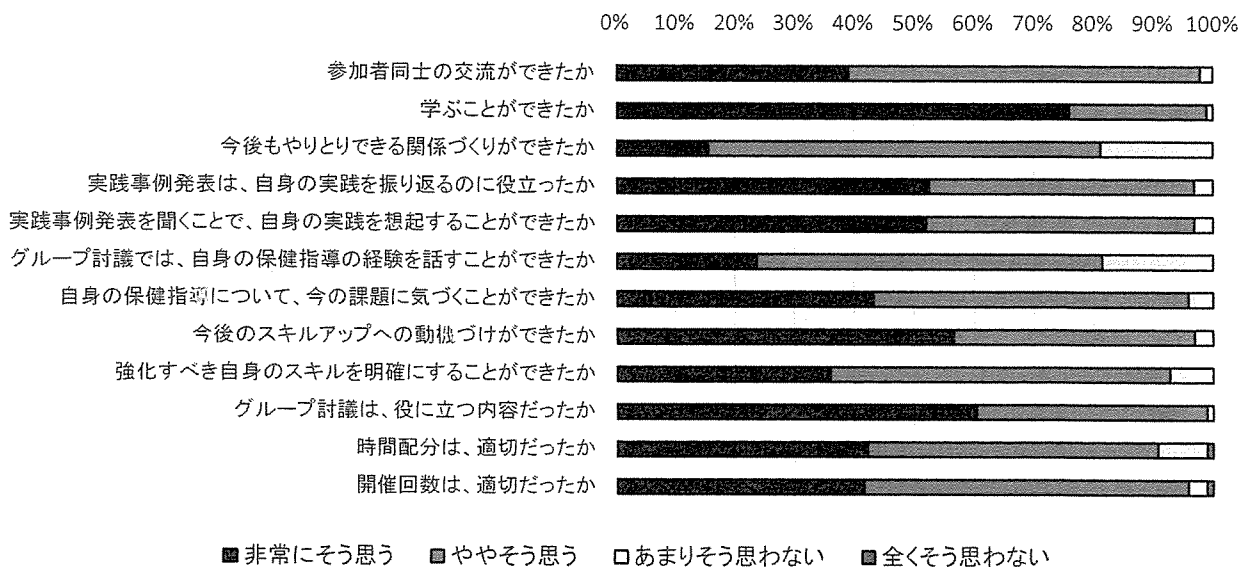
- ミーティングに参加した理由(複数回答)
最も多かったのは「保健指導のスキルアップをしたい」が 64 名、「興味のあるテーマ」が 50 名であった。

保健師ミーティングに参加した理由(複数回答)	(人)
保健指導のスキルアップをしたいから	64
興味あるテーマだったから	50
自分の実践を振り返る機会を持ちたかったから	29
日々の保健活動に課題を感じているから	25
同じ職種や違う職種と交流したかったから	19
友人・同僚に誘われたから	17
興味ある講師等だったから	11
参加費が無料だったから	7
いつも看護協会の研修を受けているから	3
毎年継続的に参加しているから	0
その他	5

● ミーティングへの参加後の感想 (複数回答)

- ・ 「参加者同士の交流」や、「学ぶこと」、「グループ討議が役に立った」については『非常にそう思う』と『ややそう思う』とした回答を合わせると 100% 近かった。
- ・ 参加者が『非常にそう思う』と回答した項目は、「学ぶことができた」が最も多く、「グループ討議が役に立った」「今後のスキルアップへの動機づけができた」との回答が続いた。
- ・ 「今後もやり取りできる関係づくりができた」「自身の保健指導の経験を話すことができた」については『あまりそう思わない』参加者が 2 割近くいた。

参加後の感想



4. 平成 26 年度 各県(3 県)のミーティング実施結果のまとめ

1) ミーティングの実施状況

- 今年度の保健指導ミーティングの参加者は 132 名、これに職能委員や運営スタッフ 32 名を含め、総勢 164 人が参加した。
- 行政分野からの参加者が 72.0%と最も多く、他の領域からの参加は医療(9.8%)、産業(6.1%)であった。
- 開催回数は、3 県とも 1 回で、午前午後を通して 1 日開催であった。

2) 企画や周知について

- 3 県とも職能委員会での協議を行い、実施に向けた打ち合わせを行っていた。また、事前にコーディネーターを交えた打ち合わせを実施していた。特に広島県では、毎月の委員会の中で、詳細にわたり内容を検討し事例検討会の練習をしてきた。
- 鹿児島県では、事例検討会のデモンストレーションとロールプレイが企画され、秋田県では、参加者間の名刺交換会の時間が設けられた。
- 参加の周知については、県協会ホームページをはじめ、会員名簿を活用したほか、県との連携による会員外への周知を図っていた。

3) 各県でのプログラムの内容

- 3 県とも、保健指導ミーティングの中で、グループごとに新任期保健師の提出した 1 事例についての事例検討が行われた。
- 3 県とも事例検討会については初めての体験であったため、事前の講義では事例検討会の進め方について説明が行われた。
- 事例検討会の後には、事例検討会を体験しての感想や課題について意見を出し合うグループ討議の時間が設けられていた。
- 事例は生活習慣病をテーマとしたもののほかに、新任期保健師の受け持つ、母子・高齢者等についても出された。

4) ミーティングの評価・効果等について

- 実施評価において、広島県のみが、「ファシリテーターは目標が達成できるようにグループ討議を進行できた」について『非常にそう思う』と評価した。広島県は、“実践力 UP 事例検討会”説明会に職能委員長が参加し、その内容について職能委員会の中で伝達講習をした。そして、ファシリテーターの役割や進め方について職能委員 5 人が理解を深め、ファシリテーターの仕方を練習した結果と考えられる。
- 結果評価については、各県とも『非常にそう思う』よりも、『ややそう思う』との評価が目立った。「参加者自身のスキルアップの動機づけにはなっていた」ようではあったが、業務に関連する「情報交換」や「連携」については、十分とは言えないようであった。参加者アンケートからも、「今後もやり取りする関係づくりが十分にできたとは言えない」状況が伺えた。

これについては、新任期保健師が、今後自身が主担当となって事業を進めていくような必然性が出てくることによって情報交換や連携の必要性を自ら感じてくるのではないかと考えられる。

- 企画評価において、3県とも、「多様な領域の保健師の参加が得られるよう、周知できた」「企画段階で、必要な人材の参加・協力を得られた」について、『非常にそう思う』と評価していた。いずれの県においても、職能委員をはじめとした企画運営担当者は、県や保健師職能関連機関・団体との関係づくりができていたため、周知についての協力をはじめ、必要な人材確保についての協力が得られる状況にあることがわかった。
- 鹿児島県、秋田県は、保健指導ミーティングの開催時期・開催場所・実施時間について、課題を残したことがわかった。秋田県は、悪天候により当初の開催日を変更した経緯がある。その影響を受け、参加者が予定より減っただけではなく、複数の参加者からも開催時期の検討が望まれていた。
- 参加者のアンケート結果から、参加動機については「保健指導のスキルアップをしたい」ことが挙げられており、参加後は、8割近くが学ぶことができたとしている。一方、グループ討議は役に立つ内容ではあったが、自分自身の保健指導の経験を話すことが十分にできたとは言えない状況が見受けられた。参加者にとっては初めての体験であることも考慮に入れると、今後は、事例検討会への参加の機会を見つけ、経験を深めることが望まれるとともに、ファシリテーターの育成も重要であると考えられる。
- 各県とも、初めての事例検討会であり、まずは事例検討会を体験しようとの意図が強かった。体験することにより、事例検討会の必要性を感じ、事例検討会等のチャンスの確保・拡大を図る必要があるとしていた。広島県では、今回のようなやり方が各職場において定着するよう続けてみたいとしており、事例検討会が様々な機会を通じて様々な場所で展開・拡大していくことが期待される。
- 準備を含めて、保健師のネットワーク形成につながったとする声もあった一方で、新任期保健師の参加者においては、十分ではなかったとのアンケート結果もあり、参加者のネットワーク作りには今後も工夫の必要がある。

5. 今後の保健指導ミーティングの開催に向けて

【今年度の実施】

新任期保健師を主な対象とした保健指導ミーティングの企画実施にあたっては、グループワークの円滑な実施とファシリテーターの育成が重要であることを鑑み、平成 25 年度に本会が開発した“実践力 UP 事例検討会”の手法を、各県協会に紹介してきた。

各県では、事例検討会の手法について職能委員会等の中で学習する、保健指導ミーティング当日にデモンストレーションをするなどの工夫が見られた。

【課題】

各県が工夫し、保健指導ミーティングを実施した中で生じた課題は以下と考えられる。

1. 事例検討会（グループワーク）の進め方

新任期を主な対象としていることもあるためか、参加者のアンケートや企画者の評価結果からは、参加者自身の保健指導の経験を話すことが十分にできたとは言えない状況もあることがわかった。また、グループによっては、参加者の発言が得られにくく、ファシリテーターが参加者一人一人に発言を促す状況もあったようだ。事例検討会の継続実施や、またそのような機会に慣れることが必要であるが、併せてファシリテーターの役目が重要とも考えられるため、その養成も今後の課題である。

2. 参加者のネットワーク構築

県の関係課との連携等も含め、連絡会や勉強会等での周知など様々な工夫が見られた。また、名刺交換会の時間を確保したり、先輩保健師が新人保健師を他の新人保健師に紹介する場面も見られた。このように、集まった参加者同士が、その場限りの交流で終わらないよう、新任期保健師同士が気遣いなく話し合える時間の確保や、情報交換のきっかけづくりが課題。

【今後の保健指導ミーティング開催に向けて】

今後の保健指導ミーティングの開催に向けては、以下が必要と考えられる。

- ・ 事例検討会の進め方についての学習の機会
- ・ 事例検討会のファシリテーターの養成
- ・ 保健師同士のネットワーク拡大のために、保健師同士が話し合える環境や時間の設定の工夫

6. 保健指導ミーティング 県別実施報告

鹿児島県

保健指導ミーティングの企画

◎保健指導ミーティングの企画について、設定した目的・目標と、企画・準備のための事前打合せの概要、保健指導ミーティングの周知方法等についてご記入ください。

目的

- ① 実践事例やグループ討議を通して自らの実践を振り返る。新任期に必要な個別事例のアセスメント能力スキルアップを図ることで保健指導の質の向上を目指し現任教育の一環とする。
- ② 新任期・プリセプター期において保健指導に関わる保健師のネットワーク・仲間作りを推進する。

目標

- ① 自分の実践を話すことができる。(実践の意識化)
- ② 自分の実践を客観的に見ることができる。(考えや行動に気づく)
- ③ 自分の職場で事例検討の実践ができる。

保健指導ミーティングのための事前打合せ

※追加の場合は表をコピーしてご利用ください。

保健師職能委員会	
【実施日】 H26/6/28 3時間程度 (10:00-13:00)	【実施者】 職能委員：7名 講師：0名 実践事例発表者：0名 コーディネータ：1名 計：8名
	【実施理由】 保健師職能委員が「やれるだろうか」・・・どういふものか実際にやってみよう。「実践力UP事例検討会」を日常業務で取組むことができるか「簡単にできる」を体験するため。
	【内容】 目的・目標の確認。 事例検討(ペーパー準備なし)
自主学習会	
【実施日】 H26/10/18 4時間程度 (9:30-13:00)	【実施者】 職能委員：7名 講師：0名 実践事例発表者：0名 コーディネータ：2名 計：9名
	【実施理由】 保健指導ミーティング実施の目的・目標の共有を行う。
	【内容】 事前打ち合わせ ・ミーティング当日の流れ・内容確認・役割分担など。 ・目的・目標、参加者に考えてもらいたいこと等について検討。

多様な領域で働く保健師（地域包括支援センター、産業、健診・医療機関、児童相談所等福祉領域等）へ周知するために工夫されたことについてご記入ください。

(1)会員に対する取り組み

- ・会員名簿に基づく周知、
- ・会報誌・県協会ホームページ等による周知
- ・保健師会員の職場へのメーリングリストによる周知

(2)非会員を含めた取り組み

- ・県より関係機関にメールにて案内した。

保健指導ミーティングの実施

◎実施した保健指導ミーティングのプログラム構成、実践事例発表の概要、グループ討議の概要・工夫点等についてご記入ください。

プログラム構成

◆プログラム（複数開催の場合は1回目、2回目のプログラムがわかるように記入してください）

※「関連する目標」の欄には、p2に記載したどの目標を達成するためのプログラムかを番号（①、②・・・）にてご記入ください。

時間	プログラム	関連する目標
10:00	開会	
10:10～10:40	実践事例発表 『実践力UPのために～佐賀県での取り組み～』 『事例検討会の効果的な進め方についての説明』 発表者：佐賀県伊万里保健福祉事務所 山口直美氏	① ② ③
10:40～11:20	事例検討会のデモンストレーション（全体）	②
11:20～12:00	事例検討会のロールプレイ実施（各グループ） 実施後個人の感想を付箋に書き白板裏に貼付	②
12:00～13:00	昼食（弁当） 感想の付箋を見て回る	②
13:00～13:10	グループワーク オリエンテーション	③
13:10～14:25	事例検討（7G）	③
14:25～15:00	グループ討議（感想）	① ②
15:00～15:50	全体共有 講師コメント	① ② ③
15:50～16:00	保健師職能委員長より「看護協会とは」	
16:00	閉会 アンケート記入	②

実践事例発表

※複数の実践事例発表を行った場合は、表をコピーして記入してください。

※実践事例発表の資料は別途添付してください。

実践事例発表の概要
(1)事例発表者の所属領域（行政・医療・福祉等）： (2)事例発表者の保健師経験年数：2～3年 (3)発表タイトル：1G「家族の困り感はないが療育へつなげたいと考えているケース」 2G「母子家庭への支援のすすめ方」 3G「うつ病の方に自分のことを話してもらえるようにコミュニケーションの方法・かかわり方を学びたい」 4G「生活支援者の突然死により独居になった方の独居生活を支える方法についての検討」 5G「第1子と2人で暮らしていくためには」

6 G「特定の隣人への被害妄想により支援がスムーズに行かないケースへのかわり方」

7 G「子育て世帯であるが夫婦ともに無職で生活が困窮しているケース支援」
詳細事例概要は別紙のとおり（添付）

グループ討議

※複数テーマでグループ討議を行った場合は、表をコピーしてご利用ください。

構成	7～8人 × 7グループ
討議のテーマ	簡単に事例検討ができる体験を通して、職場に帰ってからも事例検討会をやってみようと思い、行うことができる。
討議で工夫した点	<ul style="list-style-type: none">① 学生さんの「手書きテーマ」など会場にアットホーム手作り感をプラスした。② 日常、事例に関わる業務をしていること、提供準備する間もなく緊急にケース調整会議を行う場合もあることを想定し、当日グループ内で役割分担をしてもらった。③ 白板を情報整理のプロセスを明確にし共有するための必需品と捉え、レンタルを利用した。④ 日本看護協会シナリオ（絶対に失敗しない展開）で全体ロールプレイのデモンストレーションを1回行い、さらに同シナリオで各グループでロールプレイを1回実施することで疑似体験ができるようにした。⑤ グループで同じ職場で重ならないようにした。⑥ 各グループのロールプレイで実年齢でないシナリオの役割を体験してもらうようにした。⑦ 各グループを事例に集中しやすい配置となる会場づくりとした。

保健指導ミーティングの評価

- ◎保健指導ミーティングの評価について、3つの視点（実施評価／結果評価／企画評価）でご記入ください。
- ◎「企画評価」では、「実施評価」「結果評価」の結果を総括した評価をご記入ください。

実施評価

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

【評価基準】

4. 非常にそう思う(とてもできた)
3. ややそう思う(ややできた)
2. あまりそう思わない(あまりできなかった)
1. 全くそう思わない(全くできなかった)

評価項目	評価
①新任期の保健師が自らの実践事例を発表することができたか。	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
②様々な領域から新任期の保健師を集められたか	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
③数多くの保健師の参加が得られたか	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
④目標が達成できるように、実践事例発表を行えたか	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑤目標が達成できるように、工夫してグループ討議を行えたか	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑥グループ討議では、参加者一人ひとりが発言できたか	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑦ファシリテータは、目標が達成できるようにグループ討議を進行できたか	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑧プログラム内容は参加者に適したものだっただか(参加者の反応等からの評価)	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑨プログラム運営に必要な人員・人材を確保できたか	4 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
考察	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生がファシリテータをすることができた。 ・ グラドルールをみんなで声をそろえて読み上げることで、グループワークの雰囲気作りができた。 ・ 新任期が事例提供をすることで、参加者にサポートする雰囲気が出た。 	

結果評価

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

<p>【評価基準】</p> <p>4. 非常にそう思う(とてもできた)</p> <p>3. ややそう思う(ややできた)</p> <p>2. あまりそう思わない(あまりできなかった)</p> <p>1. 全くそう思わない(全くできなかった)</p>
--

評価項目	評価
①新任期の保健師が自身の実践を振り返ることができたか	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 4
②新任期の保健師が自身の強化すべきスキルに気付くことができたか	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 4
③参加者同士が、業務に関連する情報交換ができるような仲間づくりができたか	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 3
④参加者同士が、業務に関連する連携ができるような見通しがたったか	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 2
⑤参加者にとって、自身の考え方や行動の問題点を意識する機会となったか	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 4
⑥参加者にとって、保健指導のスキルアップの動機付けのきっかけになったか	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 4
⑦指導保健師（プリセプター）にとって、新任保健師への関わり方を振り返るきっかけになったか	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 3
⑧参加者の満足を得ることができたか	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 3
⑨県協会と関係機関等が、連携して保健師の人材育成に取り組める関係性を構築できたか。	4 3 2 1 <input checked="" type="radio"/> 4
考 察	
<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会シナリオの読み合わせが疑似体験となり、「思ったことを素直に発言していいんだ」などの発想の転換が参加者に見られた。 ・事例検討会実践では「同じ方向を向き“一緒に考える”実感ができた。」ことから取組みやすさ、多職種の連携に活かせるとの感想も得られた。 	

企画評価

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

【評価基準】
4. 非常にそう思う(とてもできた)
3. ややそう思う(ややできた)
2. あまりそう思わない(あまりできなかった)
1. 全くそう思わない(全くできなかった)

評価項目	評価
①新任期の保健師を主な対象とした事業として適切な企画内容だったか	4 3 2 1 4
②保健指導ミーティングの開催時期・開催場所・実施時間は適切だったか	4 3 2 1 3
③多様な領域の保健師の参加が得られるよう、周知できたか	4 3 2 1 4
④多様な領域の保健師の参加を得るために適切な企画内容だったか。	4 3 2 1 4
⑤事業の目的・目標の設定は適切だったか	4 3 2 1 4
⑥目的・目標について関係者間で事前共有できていたか	4 3 2 1 4
⑦事業の目的・目標に対し、プログラムの構成・内容は適切だったか	4 3 2 1 4
⑧企画段階で、必要な人材の参加・協力を得られたか	4 3 2 1 4
⑨関係機関等と協働・連携するための働きかけはできたか	4 3 2 1 4
考察	
<p>・参加者同士の連携までは深められなかったため、今後地域振興局単位での実施が望まれる。</p> <p>・研修会受講後、職場で実践したかの確認が必要である。（平成27年2月にアンケート実施予定）実施できた、実施できていない理由の確認することにより次年度の研修内容に反映させる。</p>	

まとめ

◎保健指導ミーティングの評価をふまえて、まとめやご意見等をご記入ください。

まとめ

- ・ 事前の企画調整会議で研修の目的・目標を共有できたことが、よい研修につながった。
- ・ 保健師職能委員及び共同企画者の方々、参加者も「事例検討会」の必要性を実感できた。
- ・ 新任期が困難事例を担当していることを改めて気付かされた。この事例検討を続けることで新任期を育てていくことにつながっていくので、事例検討の手法の研修は続けていかなければならないと感じた。
- ・ 今回、参加者のネットワーク構築まで至らなかったが「一緒に考える気づき」「一緒に考える土壌が地域のネットワークを作っていく」はアンケート結果から得られており、今後、事例検討会の取組みが継続・連続されたものとなるよう看護協会保健師職能委員でまとめ県の現任研修主管課に提言していく予定である。

広島県

保健指導ミーティングの企画

◎保健指導ミーティングの企画について、設定した目的・目標と、企画・準備のための事前打合せの概要、保健指導ミーティングの周知方法等についてご記入ください。

目的

- ① 新任期及び中堅期（プリセプター）の保健師が事例を通して自分自身の保健指導を振り返り、今後強化すべきスキルに気づくことができる。
- ② 職域を越えた保健師間のネットワークづくりの契機とする。

目標

- ① 新任期、中堅期保健師の保健指導のスキルアップを図る。
 - (ア) 新任期保健師
実践事例を通して保健指導を振り返り、今後強化すべきスキルに気づくことができる。
 - (イ) 中堅期保健師
保健指導実践事例を通して自分自身および新任期保健師への指導について振り返ることができる。
自分自身の強みを見つけ、今後強化すべきスキルに気づくことができる
- ② 職域を超えてお互いの活動を知ることができ、保健師間で連携がとれる機会となる。

保健指導ミーティングのための事前打合せ

※追加の場合は表をコピーしてご利用ください。

保健師職能委員会（※名称が違う場合は変更してください）	
【実施日】 H26/4/12 1時間程度 (16:00-17:00)	【実施者】 職能委員：6名 計：6名 【実施理由】 平成26年度保健指導ミーティングへの参加の確認を行う。 今回職能委員が初めて保健指導ミーティングに参加する者が多いため、平成25年度の保健指導ミーティングの企画（案）募集要項の確認をする。 【内容】 ・保健指導ミーティング参加意向決定 ・平成25年度保健指導ミーティング募集要項を参考にし、事業目的、到達目標を検討 ・各職能委員が企画書（案）を考え、次回委員会へ持ち寄る。
保健師職能委員会（※名称が違う場合は変更してください）	
【実施日】 H26/5/17 1時間程度 (15:00-16:00)	【実施者】 職能委員：6名 計：6名 【実施理由】 保健指導ミーティングの実施に向け、事業（企画）内容の検討をする。 【内容】 ・平成25年度保健指導ミーティングの開催実施報告を参考にし、持ち寄った企画（案）をまとめ、目的、目標、タイムスケジュール、講師など検討
保健師職能委員会（※名称が違う場合は変更してください）	
【実施日】 H26/6/14 1時間程度 (15:00-16:00)	【実施者】 職能委員：8名 計：8名 【実施理由】 保健指導ミーティングの実施に向け、事業（企画）内容の検討をする。

	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの決定、コーディネーターの役割の確認 ・研修日程の決定 ・事例報告は3事例程度。
保健師職能委員会 (※名称が違う場合は変更してください)	
<p>【実施日】</p> <p>H26/7/5</p> <p>1時間程度</p> <p>(15:00-16:00)</p>	<p>【実施者】</p> <p>職能委員：8名</p> <p style="text-align: right;">計：8名</p>
	<p>【実施理由】</p> <p>保健指導ミーティングの実施に向け、事業（企画）内容の検討をする。</p>
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導ミーティング実施要領案作成、常任理事会へ提出 ・保健指導ミーティングの手引きの内容の確認 ・コーディネーター、事例発表者との事前打合せの日程調整 ・事例提供者の選出、事例提供者の資料の準備についての検討
実践力 UP 事例検討会 継続実施及び普及のための戦略会議	
<p>【実施日】</p> <p>H26/8/2</p> <p>4時間程度</p> <p>(10:00-15:00)</p>	<p>【実施者】</p> <p>職能委員：1名</p> <p style="text-align: right;">計：1名</p>
	<p>【実施理由】</p> <p>平成26年度開催予定の保健指導ミーティングの企画・運営の参考にする。</p>
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・事例検討会のデモンストレーション ・グループ討議
保健師職能委員会 (※名称が違う場合は変更してください)	
<p>【実施日】</p> <p>H26/8/23</p> <p>1時間程度</p> <p>(16:00-17:00)</p>	<p>【実施者】</p> <p>職能委員：5名</p> <p style="text-align: right;">計：5名</p>
	<p>【実施理由】</p> <p>“実践力 UP 事例検討会” 会議の報告を受け、申請した保健指導ミーティングの企画内容の変更・修正点を確認する。</p>
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請した保健指導ミーティング企画書（案）について説明。 ・「平成25年度実践力 UP 事例検討会～見て・考え・理解して～」報告書、「実践力 UP 事例検討会 継続実施及び普及のための戦略会議」資料の提示と説明。 ・ファシリテーター、板書係の役割、事例検討の進め方を確認。
保健師職能委員会 (※名称が違う場合は変更してください)	
<p>【実施日】</p> <p>H26/9/20</p> <p>1時間程度</p> <p>(11:30-12:30)</p>	<p>【実施者】</p> <p>職能委員：6名</p> <p style="text-align: right;">計：6名</p>
	<p>【実施理由】</p> <p>保健指導ミーティング開催決定の通知を受け、実施内容の一部変更、事前打合せの日程、広報について確認する。</p>
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請した保健指導ミーティング企画に基づき、実施要領を一部変更 ・委員の役割確認 ・事例提供者の最終決定 ・コーディネーターおよび実践事例発表者との事前打合せの日程決定 ・保健指導ミーティング実施報告書の評価項目を参考にアンケート（案）を検討 ・広報のため、周知の方法を検討。
保健師職能委員会 (※名称が違う場合は変更してください)	
<p>【実施日】</p> <p>H26/10/4</p> <p>1時間程度</p> <p>(15:30-16:30)</p>	<p>【実施者】</p> <p>職能委員：8名</p> <p style="text-align: right;">計：8名</p>
	<p>【実施理由】</p> <p>事前打合せ会に向け、打合せの内容を検討する。</p>

	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討の方法/グループワークの方法/委員の当日の役割/新任期人材育成についてのフリーディスカッション
保健指導ミーティング事前打合せ	
<p>【実施日】</p> <p>H26/10/11</p> <p>1時間30分程度</p> <p>(14:00-15:30)</p>	<p>【実施者】</p> <p>職能委員：8名</p> <p>コーディネーター：1名</p> <p>実践事例発表者：2名</p> <p style="text-align: right;">計：11名</p>
	<p>【実施理由】</p> <p>コーディネーターおよび実践事例発表者との事前打合せを行い、当日の運営が円滑に実施できるようにする。</p>
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例検討の進め方 ・グループワークの進め方 ・事例の概要 ・発表者、ファシリテーター等の役割確認 ・新任期人材育成の意見交換
保健師職能委員会（※名称が違う場合は変更してください）	
<p>【実施日】</p> <p>H26/11/1</p> <p>1時間程度</p> <p>(15:00-16:00)</p>	<p>【実施者】</p> <p>職能委員：7名</p> <p style="text-align: right;">計：7名</p>
	<p>【実施理由】</p> <p>保健指導ミーティングの進め方の最終確認を行う。</p>
	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導ミーティングの進め方の確認 ・研修会場の準備・資料の準備 ・グループワークの記録、発表 ホワイトボードの活用の仕方等 ・アンケートの確認（広島県看護協会アンケート、日本看護協会アンケート）

周知

<p>多様な領域で働く保健師（地域包括支援センター、産業、健診・医療機関、児童相談所等福祉領域等）へ周知するために工夫されたことについてご記入ください。</p>
<p>(1)会員に対する取り組み</p> <p>(例)会員名簿に基づく周知、会報誌・県協会ホームページ等による周知 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県協会ホームページに保健指導ミーティングの開催を掲載した。 ・会員施設へ保健指導ミーティングの開催案内を送付し周知をした。
<p>(2)非会員を含めた取り組み</p> <p>(例)職能委員を通じた周知、都道府県・関係団体・看護系大学等と連携した周知、県内地域包括支援センターへの文書送付、保険者協議会・地域職域連携推進協議会等と連携した周知、研修等の機会に周知、 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県保健師研究協議会、広島県市町村保健活動協議会及び保健師長会（広島県支部・広島市支部）会長へ保健指導ミーティングの開催案内を送付し周知した。 ・広島県産業保健研究会の会員へ開催案内を送付し周知をした。

保健指導ミーティングの実施

◎実施した保健指導ミーティングのプログラム構成、実践事例発表の概要、グループ討議の概要・工夫点等についてご記入ください。

プログラム構成

◆プログラム（複数開催の場合は1回目、2回目のプログラムがわかるように記入してください）

※「関連する目標」の欄には、p2に記載したどの目標を達成するためのプログラムかを番号(①、②・・・)にてご記入ください。

時 間	プログラム	関連する目標
10:00～10:05	挨拶 (公社) 広島県看護協会 会長 板谷美智子	
10:05～10:15	オリエンテーション 保健師職能委員長 久岡桂子	
10:15～11:15	グループワーク事例検討会 実践事例発表①「定期健康診断にて血圧・尿酸値が高値であり受診を推奨しているが、継続的な受診へ結びつかない事例」 発表者：西日本中国健康管理センター 久保朋子 実践事例発表②「結核性胸膜炎の治療中で、服薬が確実にできていない事例」 発表者：広島県東部保健所 塩田真麻 実践事例発表③「難聴のある独居 60 歳代男性で血糖値管理が必要な事例」 発表者：広島市安芸保健センター 阿部実穂	①
11:15～11:20	休憩	
11:20～12:00	グループワーク「事例検討をしておの感想」 発表・講評 広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 教授 中谷久恵	① ②
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～13:50	講話 「新任期保健師とともに育つ保健師の人材育成」 広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 教授 中谷久恵	①
13:50～14:00	休憩	
14:00～15:00	グループワーク「事例検討会を実践して、スキルアップを図ろう！」 ① 講話を聴いての感想 ② 効果的な保健指導をするために 発表・講評 広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 教授 中谷久恵	① ②
15:00	閉会 アンケート記入	

実践事例発表

※複数の実践事例発表を行った場合は、表をコピーして記入してください。

※実践事例発表の資料は別途添付してください。

①生活習慣病予防

実践事例発表の概要	
(1)事例発表者の所属領域（産業）：	NTT 西日本中国健康管理センター
(2)事例発表者の保健師経験年数：	約 3 年
(3)発表タイトル：	定期健康診断にて血圧・尿酸値が高値であり受診を推奨しているが、継続的な受診へ結びつかない事例

グループ討議

※複数テーマでグループ討議を行った場合は、表をコピーしてご利用ください。

構成	8 人 × 1 グループ
討議のテーマ	事例を深めるために、分かっている情報と必要な情報を確認する。 継続的な受診へと行動変容を起こすきっかけ作りを事例の全体像から探る。
討議で工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理しながら、受診に結び付く方法を探る。 ・病院、産業保健、行政の保健師等のそれぞれの立場と経験等をもとに全員で意見を出し合う。 ・事例提供者の負担を軽減するように配慮した。

実践事例発表

②感染症

実践事例発表の概要	
(1)事例発表者の所属領域（行政）：	広島県東部保健所
(2)事例発表者の保健師経験年数：	約 3 年
(3)発表タイトル：	結核性胸膜炎の治療中で、服薬が確実にできていない事例

グループ討議

構成	8 人 × 1 グループ
討議のテーマ	結核性胸膜炎の治療中で、服薬が確実にできない事例に対して服薬だけでなくその人の生きがいも含めての支援方法を検討した。
討議で工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、話し合いのグループサイズを変え全員が発言できるように工夫した。 ・参加者一人一人の意見に耳を傾け項目毎に板書した。 ・文章だけでなく経過表を作ることで見て解りやすいようにした。

	<ul style="list-style-type: none"> ・事例提供者が気づいてない情報や視点から支援方法を検討するように参加者から意見を引き出した。 ・事例提供者が振り返り、今後の支援に役立てる具体的な意見がでるようにした。
--	---

実践事例発表

③生活習慣病予防

実践事例発表の概要	
(1)事例発表者の所属領域（行政）：広島市安芸保健センター	
(2)事例発表者の保健師経験年数：約3年	
(3)発表タイトル：難聴のある独居60歳代男性で血糖値管理が必要な事例	

グループ討議

構成	8人 × 1グループ
討議のテーマ	独居で、サポートが得られにくい事例に対して、担当保健師としてどのような関わりをすればよいか。
討議で工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の思いはどうなのか、どうありたいのかを引き出すためのアプローチの方法を導き出す。 ・本人をサポートする支援者、資源などが明らかになる。 ・事例提供者がまずどのような行動をとればよいか目標をたてる。

保健指導ミーティングの評価

- ◎保健指導ミーティングの評価について、3つの視点（実施評価／結果評価／企画評価）でご記入ください。
- ◎「企画評価」では、「実施評価」「結果評価」の結果を総括した評価をご記入ください。

実施評価

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

【評価基準】

4. 非常にそう思う(とてもできた)
3. ややそう思う(ややできた)
2. あまりそう思わない(あまりできなかった)
1. 全くそう思わない(全くできなかった)

評価項目	評価
①新任期の保健師が自らの実践事例を発表することができたか。	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
②様々な領域から新任期の保健師を集められたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
③数多くの保健師の参加が得られたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
④目標が達成できるように、実践事例発表を行えたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
⑤目標が達成できるように、工夫してグループ討議を行えたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
⑥グループ討議では、参加者一人ひとりが発言できたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
⑦ファシリテータは、目標が達成できるようにグループ討議を進行できたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
⑧プログラム内容は参加者に適したものだっか(参加者の反応等からの評価)	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
⑨プログラム運営に必要な人員・人材を確保できたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘

考察

産業、行政両方の分野からの参加があり、年齢、経験も様々であった。参加者の年齢、経験年数、職域に関係なく、討議を進めることができた。全員がグラウンドルールを理解して、ポジティブな意見が出された。

事例検討の後に講話を入れたので、事例検討の意味、意義と保健師としての役割、責任など考えがまとまりやすかった。

職域を超えての交流も図ることができた。

グラウンドルールが浸透し、グループ員の協力が図れたためか、討議は活発で、スムーズだった。

結果評価

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

<p>【評価基準】 4. 非常にそう思う(とてもできた) 3. ややそう思う(ややできた) 2. あまりそう思わない(あまりできなかった) 1. 全くそう思わない(全くできなかった)</p>
--

評価項目	評価
①新任期の保健師が自身の実践を振り返ることができたか	4 (3) 2 1
②新任期の保健師が自身の強化すべきスキルに気付くことができたか	4 (3) 2 1
③参加者同士が、業務に関連する情報交換ができるような仲間づくりができたか	4 (3) 2 1
④参加者同士が、業務に関連する連携ができるような見通しがたったか	4 (3) 2 1
⑤参加者にとって、自身の考え方や行動の問題点を意識する機会となったか	4 (3) 2 1
⑥参加者にとって、保健指導のスキルアップの動機付けのきっかけになったか	4 (3) 2 1
⑦指導保健師（プリセプター）にとって、新任保健師への関わり方を振り返るきっかけになったか	4 (3) 2 1
⑧参加者の満足を得ることができたか	4 (3) 2 1
⑨県協会と関係機関等が、連携して保健師の人材育成に取り組める関係性を構築できたか。	4 (3) 2 1

考察

事例検討の手法として、新しい学びができたように思う。今、何について討議しているかが明らかになる形で進められたので、参加者の背景が異なっても、十分意見交換ができた。

参加者においても、積極的な姿勢と今後のやる気が感じられた。研修終了後の表情にも、疲労感は見られなかった。

職能委員の所属する関係団体等への直接的な声掛けや、積極的な参加意識も加わり、新任保健師は、日々の業務に埋没することなく、職種としての向上心（エネルギー）の高さが感じられた。

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

<p>【評価基準】</p> <p>4. 非常にそう思う(とてもできた)</p> <p>3. ややそう思う(ややできた)</p> <p>2. あまりそう思わない(あまりできなかった)</p> <p>1. 全くそう思わない(全くできなかった)</p>
--

評価項目	評価
①新任期の保健師を主な対象とした事業として適切な企画内容だったか	4 (3) 2 1
②保健指導ミーティングの開催時期・開催場所・実施時間は適切だったか	(4) 3 2 1
③多様な領域の保健師の参加が得られるよう、周知できたか	(4) 3 2 1
④多様な領域の保健師の参加を得るために適切な企画内容だったか。	(4) 3 2 1
⑤事業の目的・目標の設定は適切だったか	(4) 3 2 1
⑥目的・目標について関係者間で事前共有できていたか	(4) 3 2 1
⑦事業の目的・目標に対し、プログラムの構成・内容は適切だったか	(4) 3 2 1
⑧企画段階で、必要な人材の参加・協力を得られたか	(4) 3 2 1
⑨関係機関等と協働・連携するための働きかけはできたか	(4) 3 2 1
考察	
<p>事例の内容にこだわる検討会ではなかったため、参加者においても、入りやすかったのではないかと。今回はファシリテーター、板書係を職能委員がつとめた。運営の方針、手順を共有していたので、進行もずれることなく行えた。</p> <p>分散配置により、幅広い分野で活動しているため、事例検討のテーマが偏らないように工夫をした。</p>	

まとめ

◎保健指導ミーティングの評価をふまえて、まとめやご意見等をご記入ください。

まとめ

昨年度から実施に向けての話をしてきたので、方向性などは比較的早く決めることができた。事例の内容や事例提供者の決定には苦慮した。

実施してみて、自身の実践の振り返りができた。従来の事例検討のような堅苦しさが無く、参加者の満足度は高かったように感じる。次には母子や精神など今回とは異なる分野で行うと、また違った層の参加も期待できると思う。

途中、広島市の土砂災害もあり、開催も危ぶまれたが、事例提供者、講師をはじめ、関係者全員の協力のもと、実施することができた。

今回のようなやり方が、各職場において定着するよう、少し続けてみてもよいと思う。

事前の職能委員会において、目的の共有と進め方について何回も意見交換を行うことで、職能委員間の連帯感が高まり、保健指導ミーティング実施後の達成感があった。

秋田県

保健指導ミーティングの企画

◎保健指導ミーティングの企画について、設定した目的・目標と、企画・準備のための事前打合せの概要、保健指導ミーティングの周知方法等についてご記入ください。

目的

新任期及び指導保健師（プリセプター）が共に事例検討を行うことにより保健指導の力量を向上させ、あわせて参加者相互のネットワーク形成をめざす。

目標

- ① 新任期保健師；自らの保健活動を振り返り、個別事例のアセスメント能力の向上を図る
- ② 指導保健師（プリセプター）；新任期保健師の課題を捉え、指導できる
- ③ 参加者全員；参加者の様々な気づきや知識、経験を共有し、自ら考え活動する力をつけることの重要性に気づく

保健指導ミーティングのための事前打合せ

※追加の場合は表をコピーしてご利用ください。

保健指導ミーティング 新任期保健師のための保健指導力UP大作戦 事前会議	
【実施日】 H26/11/4 3時間程度 (9:00-12:00)	【実施者】 職能委員：6名+会員1名 講師：名 実践事例発表者：3名 コーディネータ：1名 <div style="text-align: right;">計：11名</div>
	【実施理由】 ミーティング内容の共有化と役割分担の確認
	【内容】 ・事業内容の説明と「アセスメント」について講義 ・役割の確認 ・事例の紹介（3題） ・事例検討会のシミュレーション ・意見交換

多様な領域で働く保健師（地域包括支援センター、産業、健診・医療機関、児童相談所等福祉領域等）へ周知するために工夫されたことについてご記入ください。

(1)会員に対する取り組み

- ・ 会員名簿に基づく周知、会報誌・県協会ホームページ等による周知
- ・ 県庁の保健師現任教育担当部署からの課長通知依頼
- ・ 産業・医療機関に対する個別の電話勧誘と通知

(2)非会員を含めた取り組み

- ・ (1)と同様な働きかけをした
- ・ 8月に実施した保健師職能集会時にリーフレットを配布しPRした
- ・ 職能通信や他の研修会開催時にPRした

保健指導ミーティングの実施

◎実施した保健指導ミーティングのプログラム構成、実践事例発表の概要、グループ討議の概要・工夫点等についてご記入ください。

プログラム構成

◆プログラム（複数開催の場合は1回目、2回目のプログラムがわかるように記入してください）

※「関連する目標」の欄には、p2に記載したどの目標を達成するためのプログラムかを番号（①、②・・・）にてご記入ください。

時間	プログラム	関連する目標
9:30	開会 あいさつ	
9:40～10:40	講義①保健指導ミーティングの意義 ②「家庭訪問・健康相談事例における健康課題の アセスメント」	③
10:40～12:30	グループ討議Ⅰ「保健指導力UPのための事例検 討」 事例報告①八峰町福祉保健課 大高彩香 ②由利本 荘市包括支援センター 松橋亜香里 ③仙北市保健 課 榊田智佳	①②③
12:30～13:20	休憩	
13:20～13:30	名刺交換会	③
13:40～14:00	グループ討議Ⅰの発表	①②③
14:00～15:10	グループ討議Ⅱ「事例検討会の振り返り」「事例検 討会に参加し保健指導力UPに向けて高めたい課 題」	①②③
15:10～15:40	グループ討議Ⅱの発表	①②③
15:40～15:55	助言・講評	①②③
15:55～16:00	アンケート記入	
16:00	閉会	

実践事例発表

※複数の実践事例発表を行った場合は、表をコピーして記入してください。

※実践事例発表の資料は別途添付してください。

実践事例発表の概要

- (1)事例発表者の所属領域（行政・産業・医療・福祉等）：行政
- (2)事例発表者の保健師経験年数：約3年
- (3)発表タイトル：生活習慣病予防

グループ討議

構成	12人（新7人+プリ4人 事例提供者1人）
討議のテーマ	生活習慣を積極的に変えることができない49歳男性への支援
討議で工夫した点	共感的な雰囲気を作るため、メンバーの発言に対して「うんうん」と声に出してうなづいたり、「なるほど」と理解したと思ってもらえるような言葉がけをした。また、発言内容の一部を繰り返し言うことで、発言者の意見内容の確認を行った。積極的に手を上げて発言するメンバーには「積極的にいいですね」と声かけを行った。

実践事例発表

- 1)事例発表者の所属領域（行政・産業・医療・福祉等）：福祉
- (2)事例発表者の保健師経験年数：約1年
- (3)発表タイトル：認知症者への支援

グループ討議

構成	12人（新7人+プリ4人 事例提供者1人）
討議のテーマ	80歳、認知症のある女性が独居生活を維持してくための支援
討議で工夫した点	<ul style="list-style-type: none">・発言回数が均等になるようにした。・意見を求めると無言となる時間もあつたが、それぞれが考える時間であったため、発言をせかさないようにした。・参加者の表情に注意し、全員が参加する雰囲気になるよう努めた。

実践事例発表

- 1)事例発表者の所属領域（行政・産業・医療・福祉等）：行政
2)事例発表者の保健師経験年数：約1年
3)発表タイトル：生活習慣病予防

グループ討議

構成	9人（新6人+プリ2人 事例提供者1人）
討議の テーマ	69歳女性、生活習慣改善に積極的に取り組んでいるが本人の期待する効果が得られない事例への支援
討議で 工夫した点	<ul style="list-style-type: none">・時間配分をボード下に掲示し、全員で時間を確認できるようにし、プリセプターとして参加した方にタイムキーパーを依頼した。・プリセプター2名に、適宜、類似事例への対応等の意見等をもらい、参加者の気づきを促進するよう努めた。

保健指導ミーティングの評価

◎保健指導ミーティングの評価について、3つの視点（実施評価／結果評価／企画評価）でご記入ください。

◎「企画評価」では、「実施評価」「結果評価」の結果を総括した評価をご記入ください。

実施評価

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

【評価基準】

4. 非常にそう思う(とてもできた)
3. ややそう思う(ややできた)
2. あまりそう思わない(あまりできなかった)
1. 全くそう思わない(全くできなかった)

評価項目	評価
①新任期の保健師が自らの実践事例を発表することができたか。	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
②様々な領域から新任期の保健師を集められたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
③数多くの保健師の参加が得られたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
④目標が達成できるように、実践事例発表を行えたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
⑤目標が達成できるように、工夫してグループ討議を行えたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
⑥グループ討議では、参加者一人ひとりが発言できたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
⑦ファシリテータは、目標が達成できるようにグループ討議を進行できたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
⑧プログラム内容は参加者に適したものであったか(参加者の反応等からの評価)	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
⑨プログラム運営に必要な人員・人材を確保できたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘

考察

・様々な領域への働き掛けを試みたことは良かった。産業部門からの参加がなかったのは、「新任期保健師がいない」という企業や開催日を変更したことにより、参加が不可能になった企業もあったためである。これを機会に協会開催の様々な催しに参加を促していくことが必要である。(協会加入もあわせて勧める。)

・暴風のため開催日を変更したことにより若干の参加人数が減った。事例提供者の選定やスタッフの確保の点からグループ編成を3つと決めていたこともあり結果的にグループ人員と

しては適当となった。これ以上の参加者が増えた場合、グループの持ち方やスタッフの確保が課題である。

- ・ 実践事例は、提供者にとっては十分な支援事例ではなかったとしても、グループ討議の中で新たな視点に気づき今後の支援につながっていくのではないかと感じられた。

- ・ 保健所の保健師は生活習慣改善予防事例について、担当したことがなく自分のものとして捉えることができず介入（考えること）も難しいという発言から、担当業務のみに追われ、個別事例への対応における保健師の役割を考えず日々過ごしている実態の表れではないかと感じた。

- ・ プログラム内容は新任期保健師向けで妥当であった。

- ・ 新人期の保健師力をさらにUPさせるには、身近な場所での継続した開催が必要である。保健所管内や各市町村が自ら実施できるよう支援体制も必要ではないか。

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

【評価基準】
4. 非常にそう思う(とてもできた)
3. ややそう思う(ややできた)
2. あまりそう思わない(あまりできなかった)
1. 全くそう思わない(全くできなかった)

評価項目	評価
①新任期の保健師が自身の実践を振り返ることができたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┬──┘
②新任期の保健師が自身の強化すべきスキルに気付くことができたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┬──┘
③参加者同士が、業務に関連する情報交換ができるような仲間づくりができたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┬──┘
④参加者同士が、業務に関連する連携ができるような見通しがたったか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑤参加者にとって、自身の考え方や行動の問題点を意識する機会となったか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑥参加者にとって、保健指導のスキルアップの動機付けのきっかけになったか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑦指導保健師（プリセプター）にとって、新任保健師への関わり方を振り返るきっかけになったか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑧参加者の満足を得ることができたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┬──┘
⑨県協会と関係機関等が、連携して保健師の人材育成に取り組める関係性を構築できたか。	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┬──┘
考察	
<ul style="list-style-type: none"> ・受講者にとっては学びの機会になったことや、スキルアップの動機づけがされたことがわかった。（アンケート結果から） ・仲間づくり（ネットワーク）をねらい名刺交換会を実施したが、時間が短かったこともありねらいには届かなかった。今後に期待することとし、職能委員会活動として実施している新任保健師交流会「保健師の広場」とも連動させ、さらにネットワーク強化に取り組んでいくことが重要である。 ・プリセプターにあたる参加者からは、新任保健師への関わり方を考えるにあたり、保健師教育の現状を知りたいとの要望もみられた。 ・県の保健師現任教育担当者が1日参加しており、今後の新任保健師の育成に繋がるものと思う。 	

企画評価

※以下の評価項目について、右の4段階の評価基準で評価してください（最も近い数字に○印）。

<p>【評価基準】</p> <p>4. 非常にそう思う(とてもできた)</p> <p>3. ややそう思う(ややできた)</p> <p>2. あまりそう思わない(あまりできなかった)</p> <p>1. 全くそう思わない(全くできなかった)</p>
--

評価項目	評価
①新任期の保健師を主な対象とした事業として適切な企画内容だったか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
②保健指導ミーティングの開催時期・開催場所・実施時間は適切だったか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
③多様な領域の保健師の参加が得られるよう、周知できたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
④多様な領域の保健師の参加を得るために適切な企画内容だったか。	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
⑤事業の目的・目標の設定は適切だったか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
⑥目的・目標について関係者間で事前共有できていたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
⑦事業の目的・目標に対し、プログラムの構成・内容は適切だったか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
⑧企画段階で、必要な人材の参加・協力を得られたか	④ 3 2 1 └──┬──┬──┘
⑨関係機関等と協働・連携するための働きかけはできたか	4 ③ 2 1 └──┬──┬──┘
考察	
<p>・ 新任期保健師の現任教育プログラムは、個別の対応プログラムが重要だと考えていたが、事例検討会を一定の枠組みの中で実施できたことは良かった。また、プリセプターも同時に参加を促したことにより新任期保健師が、幅広く対応を考えることにも繋がったのではないかと。</p> <p>・ 今後、秋田県「保健師の人材育成ガイドライン」における研修体系の階層別研修「保健師新任研修」に位置づけ、毎年実施できるようにするためにも、県の保健師現任教育担当者が1日参加したことは有意義なことであった。</p> <p>・ 参加者（新人期・プリセプター）のみならず、必要なスタッフを確保する重要性に気づいた。参加者が今後の適切な人材（必要なスタッフ）としてなれるよう関わる必要がある。</p>	

まとめ

◎保健指導ミーティングの評価をふまえて、まとめやご意見等をご記入ください。

まとめ

- ・今回はグループ毎に事例を準備したが、事例提供者の協力が難しい場合は同一の事例で行うことも良いのではないかと。
- ・新任期の保健所保健師は個別事例への対応力が不足していることがわかったため、事例検討会等のチャンスの確保・拡大を図る必要がある。
- ・雪国では、冬に実施する場合の実施時間や実施場所の確保が難しい。できるだけ年内中(12月まで)の企画が望ましい。
- ・事例検討会をどこでも開催できるようファシリテーターの育成が必要である。

資 料

平成 26 年度 実施 3 県の実施状況等の概要

	鹿児島県（実施回数 5 回目） 参加者 6 2 人	広島県（実施回数 2 回目） 参加者 2 7 人	秋田県（実施回数 2 回目） 参加者 4 8 人
① ミーティング準備 の実施状況	<p>●自主学習会開催（1 回）</p> <p>①ミーティング当日の流れ・内容確認・役割分担など。</p> <p>②目的・目標、参加者に考えてもらいたいこと等について検討。</p>	<p>●実践力 UP 事例検討会 継続実施及び普及のための戦略会議</p> <p>①事例検討会のデモンストレーション</p> <p>②グループ討議</p> <p>*保健師職能委員会（8 回開催）の中で回会検討</p>	<p>●事前会議</p> <p>・事業内容の説明と「アセスメント」について講義</p> <p>・役割の確認</p> <p>・事例の紹介（3 題）</p> <p>・事例検討会のシミュレーション</p> <p>・意見交換</p>
② 周知（募集） の工夫	<p>会員には以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員名簿に基づく周知 ・会報誌・県協会ホームページ等による周知 ・保健師会員の職場へのメールリストによる周知 <p>・非会員にも、県より関係機関にメールにて案内した</p>	<p>会員への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県協会ホームページに保健指導ミーティングの開催を掲載 ・会員施設へ保健指導ミーティングの開催案内を送付し周知 <p>非会員への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県保健師研究協議会、広島県市町村保健活動協議会及び保健師長会（広島県支部・広島市支部）会長へ保健指導ミーティングの開催案内を送付し周知 ・広島県産業保健研究会の会員へ開催案内を送付し周知 	<p>会員への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員名簿に基づく周知、会報誌・県協会ホームページ等による周知 ・県庁の保健師現任教育担当部署からの課長通知依頼 ・産業・医療機関に対する個別の電話勧誘と通知 <p>非会員への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員と同様な働きかけ ・8 月に実施した保健師職能集會時にリーフレットを配布し P R ・職能通信や他の研修会開催時に P R
③ 実践事例発表で 取り上げた事例	<p>①「家族の困り感はないが療育へつなげたいと考えているケース」</p> <p>②「母子家庭への支援のすすめ方」</p> <p>③「うつ病の方に自分のことを話してもらえようコミュニケーションの方法・かかわり方を学びたい」</p> <p>④「生活支援者の突然死により独居になった方の独居生活を支える方法についての検討」</p> <p>⑤「第 1 子と 2 人で暮らしていくためには」</p> <p>⑥「特定の隣人への被害妄想により支援がスムーズに行かないケースへのかかわり方」</p> <p>⑦「子育て世帯であるが夫婦ともに無職で生活が困窮しているケース支援」</p>	<p>①「定期健康診断にて血圧・尿酸値が高値であり受診を推奨しているが、継続的な受診へ結びつかない事例」</p> <p>②「結核性胸膜炎の治療中で、服薬が確実にできていない事例」</p> <p>③「難聴のある独居 60 歳代男性で血糖値管理が必要な事例」</p>	<p>①生活習慣病予防 「生活習慣を積極的に変えられない 49 歳男性への支援」</p> <p>②認知症者への支援 「80 歳、認知症のある女性が独居生活を維持してするための支援」</p> <p>③生活習慣病予防 「69 歳女性、生活習慣改善に積極的に取り組んでいるが本人の期待する効果が得られない事例への支援」</p>

<p>④ 討議での工夫点</p>	<p>①学生さんの「手書きテーマ」など会場にアットホーム手作り感をプラスした。</p> <p>②日常、事例に関わる業務をしていること、提供準備する間もなく緊急にケース調整会議を行う場合もあることを想定し、当日グループ内で役割分担をしてもらった。</p> <p>③白板を情報整理のプロセスを明確にし、共有するための必需品と捉え、レンタルを利用した。</p> <p>④日本看護協会シナリオで全体ロールプレイのデモンストレーションを1回行い、さらに同シナリオで各グループでロールプレイを1回実施することで疑似体験ができるようにした。</p> <p>⑤グルーピングで同じ職場で重ならないようにした。</p> <p>⑥各グループのロールプレイで実年齢でないシナリオの役割を体験してもらうようにした。各グループを事例に集中しやすい配置となる会場づくりとした。</p> <p>⑦各グループを事例に集中しやすい配置となる会場づくりとした。</p>	<p>①生活習慣病予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理しながら、受診に結び付く方法を探る。 ・病院、産業保健、行政の保健師等のそれぞれの立場と経験等をもとに全員で意見を出し合う。 ・事例提供者の負担を軽減するように配慮した。 <p>②感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、話し合いのグループサイズを変え全員が発言できるように工夫した。 ・参加者一人一人の意見に耳を傾け項目毎に板書した。 ・文章だけでなく経過表を作ることで見て解りやすいようにした。 <p>③生活習慣病予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の思いはどうなのか、どうありたいのかを引き出すためのアプローチの方法を導き出す。 ・本人をサポートする支援者、資源などが明らかになる。 ・事例提供者がまずどのような行動をとればよいか目標をたてる。 	<p>①共感的な雰囲気を作るため、メンバーの発言に対して「うんうん」と声に出してうなづいたり、「なるほど」と理解したと思ってもらえるような言葉がけをした。また、発言内容の一部を繰り返すことで、発言者の意見内容の確認を行った。積極的に手を上げて発言するメンバーには「積極的でいいですね」と声かけを行った。</p> <p>②発言回数が均等になるようにした。</p> <p>③意見を求めると無言となる時間もあったが、それぞれが考える時間であったため、発言をせかさなないようにした。</p> <p>④参加者の表情に注意し、全員が参加する雰囲気になるよう努めた。</p> <p>⑤時間配分をボード下に掲示し、全員で時間を確認できるようにし、プリセプターとして参加した方にタイムキーパーを依頼した。</p> <p>⑥プリセプター2名に、適宜、類似事例への対応等の意見等をもらい、参加者の気づきを促進するよう努めた。</p>
<p>⑤ ミーティングの評価・効果等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドルールをみんなで声をそろえて読み上げることで、グループワークの雰囲気作りができた。 ・学生がファシリテーターをすることができた。 ・新任期が事例提供をすることで、参加者にサポートする雰囲気ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業、行政両方の分野からの参加があり、年齢、経験も様々であった。 ・参加者の年齢、経験年数、職域に関係なく、討議を進めることができた。 ・全員がグラウンドルールを理解して、ポジティブな意見が出された。 ・事例検討の後に講話を入れたので、事例検討の意味、意義と保健師としての役割、責任など考えがまとまりやすかった。 ・職域を超えての交流も図ることができた。 ・グラウンドルールが浸透し、グループ員の協力が図れたためか、討議は活発で、スムーズだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な領域への働き掛けを試みたことは良かった。産業部門からの参加がなかったのは、「新任期保健師がない」という企業や開催日を変更したことにより、参加が不可能になった企業もあったためである。 ・暴風のため開催日を変更したことにより若干の参加人数が減った。 ・事例提供者の選定やスタッフの確保の点からグループ編成を3つと決めていたこともあり結果的にグループ人員としては適当となった。 ・プログラム内容は新任期保健師向けで妥当であった。 ・新人期の保健師力をさらにUPさせるには、身近な場所での継続した開催が必要である。保健所管内や各市町村が自ら実施できるよう支援体制も必要ではないか。

平成26年度
保健指導ミーティング 参加者アンケート

様式15

当日

以下のⅠ～Ⅱの項目について、該当する番号にご回答をおねがいたします。

Ⅰ. あなたご自身についてお尋ねします。

項目	選択肢と回答欄																
ア. 性別	1. 女性	2. 男性															
イ. 年齢 (2014年10月時点の年齢)	() 歳																
ウ. 現在の職種 (○は1つだけ)	<table border="0"> <tr> <td>1. 保健師</td> <td>2. 助産師</td> <td>3. 看護師</td> <td>4. その他 [</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td style="text-align: center;">↓</td> <td>]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">エ以降からご回答ください</td> <td colspan="2">オ以降からご回答ください</td> </tr> </table>		1. 保健師	2. 助産師	3. 看護師	4. その他 [↓		↓]	エ以降からご回答ください		オ以降からご回答ください				
1. 保健師	2. 助産師	3. 看護師	4. その他 [
↓		↓]														
エ以降からご回答ください		オ以降からご回答ください															
エ. あなたの通算での保健師経験年数(2014年10月時点、休職中の期間は除く)	() 年目																
オ. 現在の役職 (○は1つだけ)	<table border="0"> <tr> <td>1. 係員(スタッフ)</td> <td>2. 主任もしくはそれと同等</td> <td>3. 係長もしくはそれと同等</td> </tr> <tr> <td>4. 課長もしくはそれと同等</td> <td>5. 部長もしくはそれと同等</td> <td>6. 所長もしくはそれと同等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">7. その他 []</td> </tr> </table>		1. 係員(スタッフ)	2. 主任もしくはそれと同等	3. 係長もしくはそれと同等	4. 課長もしくはそれと同等	5. 部長もしくはそれと同等	6. 所長もしくはそれと同等	7. その他 []								
1. 係員(スタッフ)	2. 主任もしくはそれと同等	3. 係長もしくはそれと同等															
4. 課長もしくはそれと同等	5. 部長もしくはそれと同等	6. 所長もしくはそれと同等															
7. その他 []																	
カ. 所属の種類 ()内まで選択してください。(○は1つだけ)	<table border="0"> <tr> <td>1. 都道府県</td> <td>2. 都道府県型の保健所</td> <td>3. 保健所設置市・特別区 (a. 保健所、b. 保健センター)</td> </tr> <tr> <td>4. 市町村</td> <td>5. 地域包括支援センター</td> <td>6. 医療保険者(市町村を除く)</td> </tr> <tr> <td>7. 企業・事業所</td> <td>8. 健診センター・労働衛生機関</td> <td>9. 病院</td> </tr> <tr> <td>10. 診療所</td> <td>11. 訪問看護ステーション</td> <td>12. 介護老人保健/福祉施設</td> </tr> <tr> <td>13. 教育・研究機関</td> <td colspan="2">14. その他 []</td> </tr> </table>		1. 都道府県	2. 都道府県型の保健所	3. 保健所設置市・特別区 (a. 保健所、b. 保健センター)	4. 市町村	5. 地域包括支援センター	6. 医療保険者(市町村を除く)	7. 企業・事業所	8. 健診センター・労働衛生機関	9. 病院	10. 診療所	11. 訪問看護ステーション	12. 介護老人保健/福祉施設	13. 教育・研究機関	14. その他 []	
1. 都道府県	2. 都道府県型の保健所	3. 保健所設置市・特別区 (a. 保健所、b. 保健センター)															
4. 市町村	5. 地域包括支援センター	6. 医療保険者(市町村を除く)															
7. 企業・事業所	8. 健診センター・労働衛生機関	9. 病院															
10. 診療所	11. 訪問看護ステーション	12. 介護老人保健/福祉施設															
13. 教育・研究機関	14. その他 []																
キ. 看護協会の会員(○は1つだけ)	<table border="0"> <tr> <td>1. 会員である</td> <td>2. 会員でない</td> </tr> </table>		1. 会員である	2. 会員でない													
1. 会員である	2. 会員でない																
ク. 保健指導ミーティングに参加した理由 (○はいくつでも)	<table border="0"> <tr> <td>1. 興味のあるテーマだったから</td> <td>2. 興味のある講師等だったから</td> </tr> <tr> <td>3. 同じ職種や違う職種と交流したかったから</td> <td>4. 保健指導のスキルアップをしたいから</td> </tr> <tr> <td>5. 自分の実践を振り返る機会を持ちたかったから</td> <td>6. 日々の保健活動に課題を感じているから</td> </tr> <tr> <td>7. 毎年継続的に参加しているから</td> <td>8. 参加費が無料だったから</td> </tr> <tr> <td>9. いつも看護協会の研修を受けているから</td> <td>10. 友人・同僚に誘われたから</td> </tr> <tr> <td colspan="2">11. その他 []</td> </tr> </table>		1. 興味のあるテーマだったから	2. 興味のある講師等だったから	3. 同じ職種や違う職種と交流したかったから	4. 保健指導のスキルアップをしたいから	5. 自分の実践を振り返る機会を持ちたかったから	6. 日々の保健活動に課題を感じているから	7. 毎年継続的に参加しているから	8. 参加費が無料だったから	9. いつも看護協会の研修を受けているから	10. 友人・同僚に誘われたから	11. その他 []				
1. 興味のあるテーマだったから	2. 興味のある講師等だったから																
3. 同じ職種や違う職種と交流したかったから	4. 保健指導のスキルアップをしたいから																
5. 自分の実践を振り返る機会を持ちたかったから	6. 日々の保健活動に課題を感じているから																
7. 毎年継続的に参加しているから	8. 参加費が無料だったから																
9. いつも看護協会の研修を受けているから	10. 友人・同僚に誘われたから																
11. その他 []																	

裏へつづきます

II. 本日の保健指導ミーティングについてお尋ねします。

以下の項目について、該当する番号に○を付けてください。(○は1つだけ)

質問	回答欄			
	4. 非常に そう思 う	3. ややそ う思う	2. あまり そう思 わない	1. 全くそ う思わ ない
(1) 保健指導ミーティングに参加して、参加者同士の交流ができましたか	4	3	2	1
(2) 保健指導ミーティングに参加して、学ぶことができましたか	4	3	2	1
(3) 保健指導ミーティングに参加して、今後もやりとりできる関係づくりができましたか	4	3	2	1
(4) 実践事例発表は、ご自身の実践を振り返るのに役立ちましたか	4	3	2	1
(5) 実践事例発表を聞くことで、ご自身の実践を想起することができましたか	4	3	2	1
(6) グループ討議では、ご自身の保健指導の経験(うまくいかなかったこと、しっくりいかなかったこと、できていなかったこと等)を話すことができましたか	4	3	2	1
(7) ご自身の保健指導について、今の課題に気づくことができましたか	4	3	2	1
(8) 今後のスキルアップへの動機づけができましたか	4	3	2	1
(9) 強化すべきご自身のスキルを明確にすることができましたか	4	3	2	1
(10) グループ討議は、ご自身にとって役に立つ内容でしたか	4	3	2	1
(11) 時間配分は、適切でしたか	4	3	2	1
(12) 開催回数は、適切でしたか	4	3	2	1

■その他ご意見等ございましたらお聞かせください。

(都道府県看護協会様へ) この破線以降は、都道府県看護協会様で、質問を変更していただいてもかまいません。

■アンケート結果は、本事業の目的以外には使用せず、分析は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。ご協力ありがとうございました。

平成 26 年 厚生労働省
保健指導支援事業 人材育成事業
保健指導ミーティングの開催
実施報告

発行日 2015 年 3 月 31 日
編集 公益社団法人 日本看護協会 健康政策部
発行 公益社団法人 日本看護協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
TEL 03-5778-8831 (代表)
FAX 03-5778-5601 (代表)
URL <http://www.nurse.or.jp>

※本書からの無断転載を禁ずる